新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～６月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

風が吹くと、ざわざわと木の葉の音がする。まるで、自然のオーケストラのようだ。自然がこんなに美しい音をつくれるなんてすごいな。（６年女子）

屋根の上にできたスズメのすを、ほかの鳥がねらっていた。すをまもる親鳥は、とてもたいへんそうだった。
（５年女子）

夜、窓をあけると、ほたるがとんでいた。ほたるはすごくきれいだった。今日の夜もホタルがとんでいるといいな。
（２年女子）

たこやきにソースをかけ、その上にかつおぶしをかけた。かつおぶしがおどりだしたので、びっくりした。
（３年女子）

教室が３階になったら、窓から新庄のまちなみやいろいろな建物が見えるようになった。きれいだな。
（４年女子）

ウグイスが鳴いていた。空まで響く美しい鳴き声だった。「自然って、すごいな」と思った。（６年女子）

カマキリの赤ちゃんは、カのように小さな体で、さわるとつぶれてしまいそうだった。でも、大人と同じようなカマをもっていて、びっくりした。（２年男子）

コイがえさを食べるとき、水から顔を出して、すいこむように食べた。すごくおもしろかった。
（３年男子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第１号　R3. 7.13